

事務事業名		佐野医師会病院等耐震化工事支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	地域医療係	担当課長名	川島紀昭	
	施策	2 地域医療体制の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 医療機会の充実					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6921	一般	4	1	1	佐野医師会病院等耐震化工事支援事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H26年度～H27年度		根拠法令等						
					事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		1-8			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<p>東日本大震災に伴い、耐震診断を行った結果、佐野医師会病院において、公共施設の構造耐震指標を下回る部分が判明し、耐震化工事が必要となった。</p> <p>佐野医師会病院は、地域支援病院として市の地域医療に貢献しているとともに、病院内には、佐野休日・夜間緊急診療所があり、年間約1万人の患者の診療を行っている状況である。通常の休日・夜間における診療は、内科が大半で外科は少ないが、災害時は外科の患者が圧倒的に多くなると推測される。佐野医師会病院と佐野休日・夜間緊急診療所が連携を図り、治療に訪れた患者に対応するため、病院常勤の医師と病院近隣の開業医(外科並びに整形外科医等)の協力のもと、怪我人等の治療にあたる。</p> <p>また、災害発生に伴い、怪我等の重症者は入院治療が必要になるため、入院設備のある市内の他の病院と入院患者の割り振りを調整し、患者の受け入れ体制を整えなければならないが、入院設備がある病院は限られているため、その内の一つである医師会病院はなくてはならない存在である。</p> <p>以上の理由から、耐震診断の結果を踏まえ、耐震化工事を行い、災害時には、地域住民に対して救急医療の拠点の一つとして機能が発揮出来るように対応を図る。</p>			<p><市の活動> 災害時に救急医療が行えるように、佐野医師会病院並びに医師会館の耐震強度の補強工事を行う佐野市医師会に対し、補助金の支出を行った(申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、補助金交付)。</p> <p><団体の活動> 佐野医師会病院並びに医師会館の耐震強度の補強工事を行った。</p>							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市内の病院数	院		5	5			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民 地域医療支援病院			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市人口	人		122,582	121,522			
			地域医療支援病院数	院		1	1			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
地域における市民の医療不安の解消並びに地域医療体制の充実を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			医師会病院年間外来延べ患者数	人		28,159	28,159			
			医師会病院年間入院延べ患者数	人		10,370	10,370			
			休日夜間緊急診療所年間延べ患者数	人		9,929	10,300			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民が安心して受診できる医療体制が整備されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市内の医療体制に満足している市民の割合(市政に関するアンケート)	%		59.0	61.0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			12,750		12,750					
	事業費計(A)	千円		0	12,750		12,750		0			0
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
				負担金補助及び交付金	12,750	負担金補助及び交付金	12,750					
人件費	正規職員従事人数	人		2		2						
	のべ業務時間	時間		160		20						
	人件費計(B)	千円	0	631		79		0			0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	13,381		12,829		0			0	

事務事業名	佐野医師会病院等耐震化工事支援事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	地域医療係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成24年10月に佐野市医師会より、医師会病院の耐震工事に対する補助要望書が市へ提出された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成25年度になって、県より平成24年度補正予算による地域医療再生計画の策定に係る事業の提案募集があり、事業主体である佐野市医師会が直接、県に応募した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成24年10月に佐野市医師会より市へ補助要望書が提出された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	地域における市民の医療不安の解消と、医療の機会の充実を図ることは、市民が安心して暮らしていくために重要かつ市の責務であり、地域医療体制の維持という政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	地域医療体制の整備を図るのは、地方公共団体の努めであり、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	地域医療体制の充実を図り、地域における市民の医療不安の解消を図るのは、市の務めである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	東日本大震災に伴い、耐震診断を行った結果、佐野医師会病院において、公共施設の構造耐震指標を下回る部分が判明し、耐震化工事が必要となったので、耐震化工事により公共施設の構造耐震指標を上回る値になれば目標を達成するため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費については工事見積額に基づき、補助事業の実績の補助率を用いて算出した。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	受益者は、佐野医師会病院並びに佐野休日夜間緊急診療所を運営している佐野市医師会になるが、佐野医師会病院は地域支援病院として、佐野休日夜間緊急診療所は初期救急医療機関として、市内の医療体制の充実を図るうえで、重要な役割を担っている。医療体制の充実を図るのは、行政の責務と考えるため、適正と判断する。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		耐震化工事に対する補助であり、2か年の事業であるので、平成27年度で終了する。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					